

群星
【むりぶし】

Muribushi

11月★12月 2009年
月号

隔月発行

November



December



【特集】運輸部

シンガポール旅フェア

「NATAS TRAVEL 2009」出展について



〈表紙写真〉

【結願祭】

(小浜島)



小浜島は、石垣港から船で約25分、周囲16.6km、面積7.84km²、人口635人、世帯数355世帯(H21.9末住基台帳)で八重山群島の中央に位置します。

さとうきびを中心とした農業が島の主な産業です。また、日本最南端の本格的なゴルフコースがあり、ダイビングやシュノーケリングなどの海洋レジャーを中心に人気が高く、小浜島と西表島間にあるヨナラ水道にはオニトマキエイ(マンタ)が見られることから、通称マンタウェイと呼ばれています。

小浜島には古式豊かな伝統芸能が豊富に残され、その中でも2008年に国の「重要無形民俗文化財」に指定された『結願祭』は、「節」と「結願」の元々2つの行事が、明治初期頃1つになったといわれ、旧暦8月の戌戌(つちのえいぬ)のスクミ(リハール)から始まり、翌日の己亥(つちのとゐ)のショウニツ(正日)には棒や獅子舞の奉納、そしてミルク・福祿寿がファーマーを随(したが)え、舞台上で数多くの芸能が神へ奉納されます。八重山の中でも小浜島にしかみられない独特の民俗舞踊「ダートウダ」や、衣装等にも注目が集まります。

Muribushi

群星
【むりぶし】

C O N T E N T S

01 就任の御挨拶

内閣府特命担当大臣 前原誠司

02 プロフィール

内閣府特命担当大臣 前原誠司

内閣府副大臣 大島 敦

内閣府大臣政務官 泉 健太

03 地域の目「琉球歴史の魅力」

琉球歴史浪漫の会顧問 劇作家 亀島 靖

特集

04 運輸部 シンガポール旅フェア「NATAS TRAVEL 2009」出展について

06 仕事の窓① 総務部／開発建設部 沖縄総合事務局防災訓練(地震・津波)の実施について

07 仕事の窓② 経済産業部 今こそ太陽光発電

08 仕事の窓③ 財務部 第22回 法人企業景気予測調査

10 仕事の窓④ 農林水産部 沖縄版「食事バランスガイド」実践週間の結果について

12 仕事の窓⑤ 農林水産部 農家も食品製造業者も満足 農商工連携レポート

14 仕事の窓⑥ 運輸部 久高～安座真航路に高速旅客船『ニューくだかⅢ』就航

局の動き

総務部 公正で自由な競争が、事業者と消費者を守っています
経済産業部 「改正特定商取引法・割賦販売法説明会」の開催について
開発建設部 那覇港(泊ふ頭地区)大型旅客船バース供用開始
開発建設部 『第1回 大保ダム水源地域ビジョン策定委員会』を開催
運輸部 平成21年度船員労働安全衛生月間の実施

18 なかゆくい ＊シリーズ④ ～カーボンフットプリント(CFP)ってご存じですか?～

20 内閣府だより 平成21年度「子ども霞が関見学デー」

21 お知らせ

「ゆいレール」 いろいろ 再発見!

#3

車両の ヒ・ミ・ツ

普段 何気なく乗降しているゆいレールの車両「1000系」は、2003年にグッドデザイン賞を受賞しています。そして、この車両には、様々なアイデアが隠されています。みなさんはいくつご存じですか?

○琉球伝統文化の演出

車体には、首里城の伝統的な本朱塗りの赤を基調としたシンボルカラー赤のラインを配しています。座席は、沖縄伝統の琉球絣(りゅうきょうがすり)の紋様「トウグワウ(小鳥)」とバンジョウウ(カキ型)」を組み合わせた柄を採用しています。

○環境・観光への配慮

沖縄特有の塩害対策及び車両の軽量化を図るため、車体は全アルミニウム合金製の溶接構造です。また、低騒音化を図るため、床下駆装機器はスカートで被い、台車廻りに防音カバー等を設けられています。客室は、地上10mの軌道上を走り抜ける車窓からの眺望を楽めるよう、窓が大きく設計されています。運転室の後ろには、前面の眺望も楽しめるよう、20cm高くした展望席が配置されています。

○色彩に隠された工夫

下から上に向かって黒のラインからグレーへと色彩を変化させることにより、車体を軽くかつ長く見せています。また、客室は清涼感ある白を基調に、窓枠を黒、切妻部を黄色とし、すっきりと明快な色合いとしています。さらに、床はツートンカラーの横縞になっていますが、これは車内を広く見せるためです。

今回も最後にクイズを一つ。ゆいレールの車両は、5つのキーワード(漢字一文字)を元にデザインされています。「優」、「涼」、「景」、「清」、最後の一つは何でしょう。(ヒント:本文中に使われている漢字です。)

(正解は17ページ左下にあります。)



赤いラインが鮮やかな車体



眺望が楽しめる展望席



大きな窓が特徴的な車内

★本誌タイトルについて★

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昂星(すばる)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれています。



内閣府特命担当大臣

まえはら せいじ
前原 誠司

この度、鳩山内閣において沖縄を担当する内閣府特命担当大臣に就任いたしました。

就任後、できるだけ早く現地に赴き、地元の方々と意見交換させていただきたいと考え、10月3日から4日にかけて、沖縄を訪ねました。

今回の訪問では、仲井眞知事を始め多くの首長・議長さん等とお会いし、就任の御挨拶と

もに、沖縄をめぐる諸課題について率直な意見交換を行うことができました。

また、沖縄戦没者墓苑の参拝等を通じ、先の沖縄戦における県民の皆様の筆舌に尽くし難い苦難とともに、平和の大切さへの思いを新たにいたしました。

普天間飛行場の視察では、私自身、過去に何度も足を運んでおりますが、市街地に隣接して広がる姿を目にし、一日も早く移設して、住民の安全を確保しなければならぬと改めて実感した次第です。私は、初当選以来、沖縄の基地問題に取り組んでまいりました。その経験から、県民の皆様の御労苦、すなわち狭

Greeting

就任の御挨拶

い県土に我が国の米軍施設・区域の約75パーセントが集中している現実を考える時、我々の責務としてこれら施設・区域の縮小に取り組んでいかなくてはならないという思いを強く持っています。

さらに、沖縄の置かれた特殊事情を踏まえると、その振興を今後ともしっかりと責任を持って続けていくことが重要であると考えます。その際には、沖縄が真に自立的に発展するために何をすべきかという視点がぜひとも必要です。

県民の皆様の御要望をしっかりと受け止めながら、沖縄の振興、沖縄が抱える問題の解決に力を尽くす決意です。



国立沖縄戦没者墓苑にて献花に望む

プロフィール

Profile

内閣府特命担当大臣に

まえはらせいじ

前原誠司 氏が就任



平成21年9月16日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府特命担当大臣に、前原誠司氏が就任しました。

■プロフィール

平成5年衆議院議員選挙で初当選。平成13年民主党幹事長代理、平成14年民主党「次の内閣」安全保障ネクスト大臣、平成15年民主党「次の内閣」ネクスト外務大臣、平成16年民主党「次の内閣」ネクスト防衛庁長官、平成17年民主党代表、平成19年民主党副代表を歴任。平成21年鳩山内閣において、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）に就任。

京都2区選出

内閣府副大臣に

おおしま あつし

大島 敦 氏が就任



平成21年9月18日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府副大臣に、大島敦氏が就任しました。

■プロフィール

平成12年衆議院議員選挙で初当選。平成21年鳩山内閣において、内閣府副大臣に就任。埼玉6区選出

内閣府大臣政務官に

いずみ けんた

泉 健太 氏が就任



平成21年9月18日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府大臣政務官に、泉健太氏が就任しました。

■プロフィール

平成15年衆議院議員選挙で初当選。平成16年衆議院内閣委員会委員、衆議院決算行政監視委員会委員、衆議院青少年問題に関する特別委員会委員、衆議院厚生労働委員会委員、平成17年衆議院内閣委員会委員、衆議院青少年問題に関する特別委員会委員、衆議院内閣委員会理事、平成21年衆議院消費者問題に関する特別委員会委員を歴任。平成21年鳩山内閣において、内閣府大臣政務官に就任。

京都3区選出

「琉球歴史の魅力」

琉球歴史浪漫の会顧問、劇作家 ● 亀 島 靖



毎

月第三水曜日午後七時、登録年齢がわからない中高年（？）の男女がつどう集会がある。登録会員

は、二十七名、構成員は沖縄県観光ボランティア友の会会員、那覇市街角ガイド、那覇市観光案内所、久高島、旧知念村文化財案内講師、中城城跡ボランティアガイド、とみしろ史跡友の会、糸満市観光市民ガイド、うらおそい歴史ガイドの会、沖縄平和ネットワーク、また那覇バス、東陽バス、沖縄バス、中部観光バスの指導員、個人タクシーの経営者三名等、多岐にわたっている。

会員はいずれも現場経験五年以上というベテランで、文字通り沖縄観光最前線の人材ばかりである。このメンバーが、毎月、懇親

と研修を兼ねて集うのが「琉球歴史浪漫の会」である。それぞれ一言言を持つ口うるさい年齢の御仁ばかりで、自由にすると収拾がつかないので、一応、会則を作り役員を置いて運営されている。役員になると苦勞が多く、早く年をとるとも言われているが、断る人物はいない。

会の発足の原因は、平成十六年二月に実施された沖縄県観光産業人材育成事業の中の歴史・世界遺産ガイド養成講座である。プロの歴史ガイドを養成する講座だが、会員は、この講座に参加したメンバーで、講座の終了後、別れ別れになるのが残念と言うことから、自然発生的に生まれたのが「浪漫の会」で足かけ六年を迎えることになる。毎月、発表担当を決め、現場での問題、各地域の歴史、文化、等を研修している。年に一度はフィールドワークを行い「ウンジャミ」等の文化行事等を視察して実体験を積んでいる。時には、伊平屋島、伊是名島、久米島、奄美大島等にでかけて史跡の勉強会なども実施している。

会が継続している大きな理由

は、会員個人の参加努力もさることながら、会員一人一人が琉球歴史に魅力を感じていることに他ならない。学校で教わらない琉球史には、いろいろな疑問点が残されており一人で解決するには困難な面があるが、会員お互いで議論することでのキーワードが見えてくる場合が多い。

例えば、①ウチナーンチュのルーツは、どこから来たのか？②なぜ、小国琉球が、国際大国中国から五百年間も優遇措置を受けられたのか？③なぜ、琉球の進貢船は、洋上で一度も倭寇に襲われなかったのか？④日本初の全身麻酔手術を行った高嶺徳明とは、どんな人物なのか？⑤沖縄県の世界遺産の半分近くを作った、名君・尚真王とは？⑥源為朝の琉球渡来は真実か？⑦なぜ、台風の多い沖縄で、グスクは風当たりの強い丘の上に築かれているのか？⑧なぜ、二千年前の中国の貨幣「明刀銭」は、本土では出土せず沖縄だけで発見されるのか？・・・その他に、護佐丸はなぜ、生没年が不詳なのか？なぜ、久高島は、神の島と呼ばれているのか、等他にも各地域

のローカル性ゆたかな疑問点が数多くある。

日本史と違い、東南アジア、中国、朝鮮国等との異国との交流で育まれた琉球の王国史と文化は、会員につきせぬ興味と関心を与えてくれている。また、会員同士の情報交換によって、次のようなメリットが生まれている。①これまで各地域のボランティアガイドによりそれぞれ異なっていた歴史用語や表現手法が、歴史の共通認識によって統一した歴史表現でガイドできる。これは受ける側の観光客、修学旅行生にとっても分かりやすく好評である。②各地域の伝説、民話等、協同学習したものを説明に取り入れ、よりエンターテイメントにあふれたストーリーを県外者に提供でき、琉球史に関心をもたせることができる。③現場で得た観光客の新しいニーズ等を、定例研修会で情報交換することによってスムーズなガイドンスが組み立てられる。県外からの観光客に琉球の歴史を分かりやすくガイドすることが会の目的でもあるが、次の目標には外国語のガイドダンスコースがある。

2009」出展について

【訪日外国人観光客誘致事業】



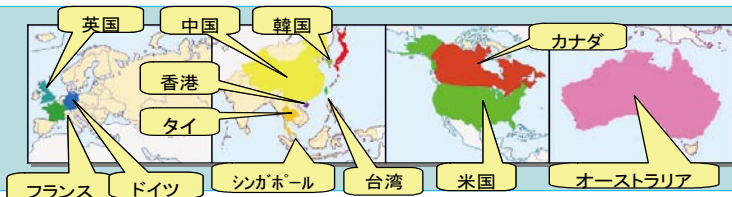
ビジット・ジャパン・キャンペーンの取組み

2010年までに訪日外国人旅行者数を1,000万人にするとの目標に向け、重点12市場を対象に、我が国の観光魅力を発信するとともに、日本への魅力的な旅行商品の造成等を支援するビジット・ジャパン・キャンペーンを官民一体で推進。

重点市場

訪日旅行者数の多い12の国・地域

※このほか、有望新興市場（インド、ロシア、マレーシア）において調査を実施
（2009年度からフィリピン・インドネシア・イタリア・スペイン・ベトナム・メキシコ・GCC諸国においても調査に着手。）



我が国は観光立国の実現のため、官民一体となって訪日外国人観光客誘致事業（ビジット・ジャパン・キャンペーン）を展開しています。

開いています。沖縄総合事務局も沖縄県と連携して、重点市場として定めた

認知度向上事業

我が国の観光魅力を発信するための事業

- 海外メディアの日本への招請、取材支援
- 海外のTVCM等による広告宣伝
- WEBサイトによる情報発信
- 海外の旅行博覧会等への日本ブース出展



香港・メディア招請事業
（仙台・2008年8月）



フランス・日仏観光交流年バス車体
広告（2008年3月）

誘客事業

魅力的な訪日旅行商品の造成・販売支援や、青少年交流の拡大に向けた事業

- 海外旅行会社の日本への招請、商談会の実施
- 訪日旅行商品の共同広告
- 訪日教育旅行の誘致

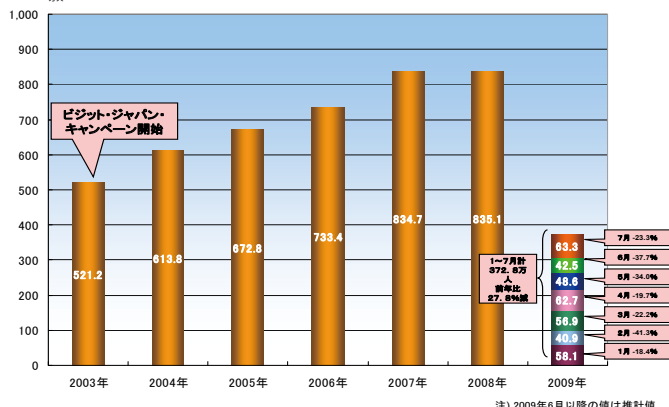


シンガポール・訪日教育旅行セミナー（2008年8月）



大規模商談会・YOKOSO！
JAPANTラベルマート
（2008年10月）

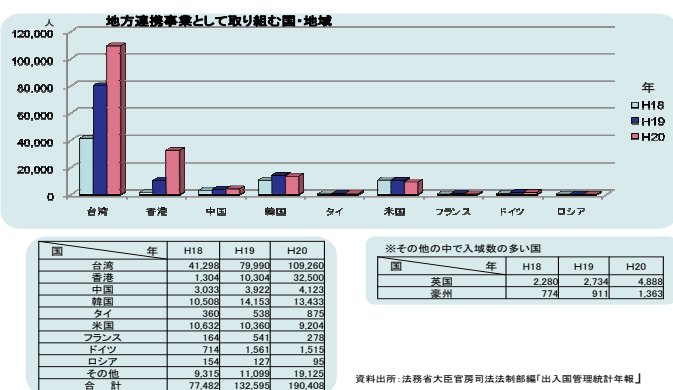
訪日外国人旅行者数の推移



シンガポールは、赤道近くに位置する熱帯モンスーン気候に属しており、四季の変化がほとんどなく年中高温多湿です。国土面積は沖縄県全体の面積の約1/3ですが、人口は沖縄県の約3.5倍の473万人もあり、人口密度ではモナコについて世界第2位となっています。

国や地域に対し沖縄の認知度を高め沖縄観光への興味を持ってもらうためのプロモーション事業を行っており、その事業のひとつとして、シンガポールで開催された旅フェア「NATAS TRAVEL 2009（※）」（8月28日～30日）に出展しましたのでその様子をご紹介します。

外国人入域客数（沖縄県）



しかしながら、沖縄県への入域客数はわずか400人程度しかなく、（沖縄県全体の外国人観光客数は約19万人）その要因として、シンガポールへの沖縄PR事業が始まったばかりであること、日本観光の「ゴールデン

都市国家であるシンガポールでは国民の海外旅行への関心が非常に高く、海外旅行者数は国民人口を上回っています。訪日旅行者数も年々増加しています。2008年の日本への入域客数は16万7,900人になりました。



「NATAS TRAVEL」と呼ばれ認知度の高い「東京・大阪・京都」や気候的に大きく違う「雪の北海道」などに人気が集まっていることなどが考えられます。

このような旅行好きなシンガポール国民に対し、同国から一番近い日本である沖縄に目を向けさせるため、展示会場に沖縄県や（財）沖縄観光コンベンションビューローと共同で「OKINAWA」ブースを構え、パンフレット配布、DVD放映等により沖縄のリゾート観光や海洋レジャーなどをPRしました。

※「NATAS TRAVEL」の主催はシンガポール全国旅行業協会（NATAS）であり、来場客がその場で旅行商品を格安で購入できるため、毎回6万人もの来場者がある人気の高いフェアです。

ブースを訪れた来場者からは、「OKINAWAはどこにあるのか」という基本的なものから「主な観光地にはどのようなものがあるか」「島内での移動はどうしたらよいか」という具体的な内容まで多種多様な質問があり、旅行好きな国民の一端を垣間見た気がしました。

メインステージでは出展国の舞台演技が繰り広げられ、日本から唯一参加した沖縄のエイサー（古武道太鼓集団「風之舞」）の勇壮な演武や華麗な舞は来場者を魅了し、沖縄観光のイメージアップにつながりました。

現在、シンガポールから沖縄県への直行便がないため台北経由や東京、大阪、福岡を経由したルートでの来県となりますが、シンガポールの現地旅行社は沖縄を絡めた日本旅行メニユーを積極的にセールスしてました。

準備したパンフレットが最終日中盤には足りなくなってしまうほどの沖縄への関心の高さに手応えを感じ、2010年訪日外国人観光客1000万人達成に向け、シンガポールは大いに期待できる国として積極的な誘客事業を今後も継続していきます。

総務部／開発建設部



訓練は、午前9時15分に沖縄本島南西沖でマグニチュード8.0、震度6弱の地震が発生したとの想定で、本局職員全員参加の緊急地震速報対

応に始まり、離島を含めた全職員の安否確認訓練を行いました。

その後、防災担当職員で実施した訓練は、総務部は、災害対策本部の立ち上げ、入居庁舎の安全確認や災害広報訓練、関係機関及び各部との連絡調整訓練を行い、財務部は、所管業務のうち沖縄本島及び石垣島に所在する公務員合同宿舎の被災情報連絡訓練を行いました。

農林水産部は、災害対策支部の立ち上げ、地震により名護市喜瀬集落の農道法面が崩壊し、農道埋塞が発生したこと及び漁港施設（糸満漁港）の津波被害の情報が沖縄県から寄せられたとの想定で適切な情報伝達訓練を実施しました。

開発建設部は、所管するダム、道路、港湾、公園及び官庁営繕施設がそれぞれ被災したとの想定で、沖縄

沖縄総合事務局防災訓練（地震・津波）の実施について



Point 沖縄総合事務局では、去る10月8日、地震・津波の災害を想定して、災害対策の適切な初動体制を確立し、関係機関との間において関連情報等の伝達が迅速かつ的確に行われることが重要であるとの認識のもと、防災訓練を実施しました。

県や国の関係機関のほか、沖縄建設弘済会、沖縄県建設業協会、日本道路建設業協会沖縄支部及び沖縄県舗装業協会と連携した災害支援訓練、また、沖縄総合事務局防災ヘリ

による現地災害映像を関係機関に送信することや、衛星小型画像伝送装置による被災現場の状況調査及び画像配信訓練、災害対策支部とのテレビ会議システムによる応急対策訓練などを実施するとともに、緊急災害対策派遣隊員（TEC- FORCE）の派遣についての訓練も実施しました。

運輸部は、那覇港に停泊中の船舶や那覇バスターミナルに停車中のバスが被災したとの想定で被害状況や運航（行）状況等の情報連絡訓練を実施しました。

今回の訓練では、那覇産業保安監

督事務所、沖縄气象台、国土地理院沖縄支所、第十二管区海上保安本部、陸上自衛隊第混成団及び沖縄県等の関係機関にもご協力いただき、有意義な訓練を実施することができました。

関係機関の皆様の御協力に感謝申し上げます。

最後に、訓練後に挙げた様々な反省点を次回以降の訓練に生かして、当局の防災体制の強化、充実に努めてまいりたいと思います。



経済産業部



買取制度がスタートします。

今こそ太陽光発電



○太陽光発電買取制度

2009年11月1日から「太陽光発電の買取制度」がスタートします。これにより、太陽電池を使って家庭で作られた電力のうち、自宅で使われずに余った分を従来の2倍(1kWhあたり48円※)で10年間売ることが出来るようになるというものです。これにより、太陽光発電システム導入にかかる費用も約10～15年で回収出来るようになるようです。買取にかかった費用は、電力を利用する方、全員で負担する「全員参加型」の制度となっています。

○低炭素社会構築に向けて

経済産業省資源エネルギー庁太陽光発電買取制度室の黒部一隆氏から制度の説明がありました。会場内には大勢の方々が集まり、熱心に聞き入っていました。

○ソーラータウンミーティング

資源エネルギー庁と沖縄総合事務局では、広く県民の皆様に制度を知っていただき、積極的に意見を交換したいということで、平成21年10月8日に当局会議室におきまして、「ソーラータウンミーティング―太陽光発電の買取制度説明会―」を開催いたしました。

太陽光発電の導入拡大については、「2020年頃に現状の20倍程度」という高い目標が設定されています。経済産業省はこれまでも導入に対する補助制度や税制優遇など様々な施策を行ってきましたが、本制度は太陽光発電への更なる普及拡大施策の一つとして、国全体で取り組み、「二億二十万人の一歩」がこれからの未来を作っていくという想いを共有し「全員参加型」で推し進めていければと考えています。如何でしょうか？皆様も太陽光発電システムの導入を本格的にご検討してみませんか。

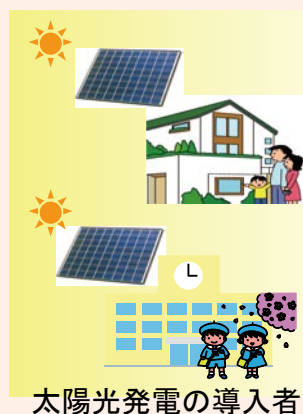
※当初は住宅用48円、非住宅用24円、自家発電設備併設の場合、住宅用39円、非住宅用20円。

太陽光発電の新たな買取制度

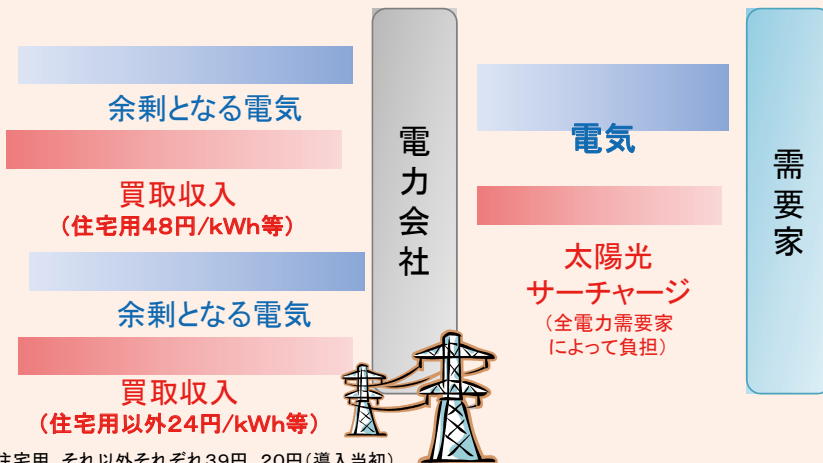
現在、政府では11月1日から開始される「太陽光発電の新たな買取制度」の準備を進めています！この制度により、日本の太陽光発電導入量を拡大することで、エネルギー源の多様化に加えて、温暖化対策や経済発展にも大きく貢献できます。詳しくは買取制度HP(URL: <http://www.enecho.meti.go.jp/kaitori/index.html>)を御覧ください。

買取制度のポイント

- 太陽光発電システムで作られた電力のうち、余剰電力が買取対象となります。
- 買取期間は買取を開始した時点から10年間で、買取価格は固定されます。(※設置された年度によって価格が低減していきます。導入当初は住宅用(10kW未満)であれば48円です。)
- 負担額については、電力需要家全員で負担をする全員参加型の制度です。



太陽光発電の導入者



※自家発電設備を併設している場合は、住宅用、それ以外それぞれ39円、20円(導入当初)。

財務部

調査の概要

【調査の目的】

本調査は、企業活動の現状と先行き見通しに対する経営者の判断を調査し、経済・財政政策運営の基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として年4回(2、5、8、11月)実施。

【調査の時点】 平成21年8月25日

【調査対象期間】

判断項目／

21年7～9月期及び9月末見込み

21年10～12月期及び12月末見通し

22年1～3月期及び3月末見通し

計数項目／

21年度上期実績見込み

21年度下期見通し

調査対象企業の範囲

沖縄県内に所在する資本金1千万円以上の法人企業

●対象企業数:111社

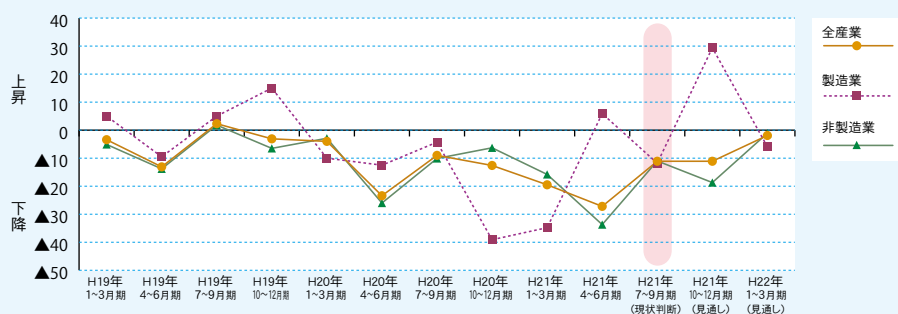
●回答企業数:108社

●回収率:97.3%

(単位:社)

	対象企業数	回答企業数	回収率(%)
全産業	111	108	97.3
製造業	17	17	100.0
非製造業	94	91	96.8
建設業	22	21	95.5
情報通信業	8	8	100.0
運輸業、郵便業	8	8	100.0
卸売業、小売業	21	20	95.2
サービス業	21	20	95.2

景況判断 現状判断は、「下降」が「上昇」を上回る



企業の景況判断BSI(原数値) (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

	21年 4～6月 前回調査	21年 7～9月 現状判断	21年 10～12月 見通し	22年 1～3月 見通し
全産業	▲27.2	(▲5.8) ▲11.1	(▲1.0) ▲11.1	▲1.9
製造業	5.9	(▲11.8) ▲11.8	(17.6) 29.4	▲5.9
食料品製造業	▲12.5	(0.0) 0.0	(0.0) 14.3	▲42.9
非製造業	▲33.7	(▲4.7) ▲11.0	(▲4.7) ▲18.7	▲1.1
建設業	▲42.9	(▲19.0) ▲28.6	(▲4.8) ▲23.8	14.3
情報通信業	▲25.0	(25.0) ▲37.5	(12.5) 0.0	0.0
運輸業、郵便業	▲62.5	(0.0) ▲25.0	(0.0) 0.0	0.0
卸売業、小売業	▲10.5	(▲10.5) 0.0	(0.0) ▲5.0	0.0
サービス業	▲43.8	(▲12.5) 0.0	(▲6.3) ▲40.0	▲15.0

(注) ■色字は前回調査(21年4～6月期)時の見通し



平成21年7～9月期沖縄管内分の法人企業景況予測調査を実施しました。
21年7～9月期の企業の景況判断BSIを21年4～6月期と比較すると、全産業で現状判断は「下降」が「上昇」を上回っています。

第22回 法人企業景況予測調査

(平成21年7～9月期調査) 沖縄管内分

BSIの計算法 (Business Survey Index)

例 「景況判断」の場合

前期と比べて

「上昇」と回答した企業の構成比…40.0%

「不変」と回答した企業の構成比…25.0%

「下降」と回答した企業の構成比…30.0%

「不明」と回答した企業の構成比…5.0%

BSI=

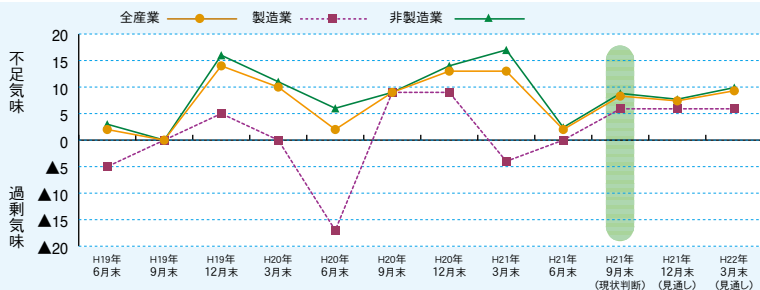
(「上昇」と回答した企業の構成比40.0%)

-(「下降」と回答した企業の構成比30.0%)

=10.0ポイント

雇用

現状、先行きとも「不足気味」が「過剰気味」を上回る



従業員数判断BSI(原数値) (期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)
(単位: %ポイント)

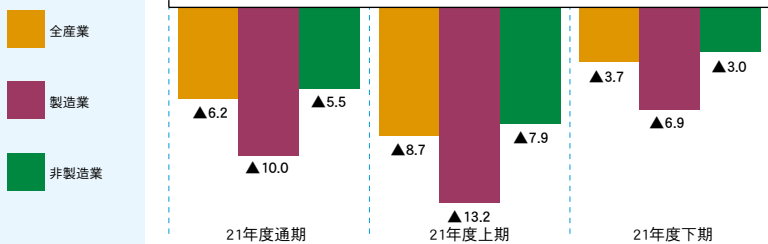
	21年6月末 前回調査	21年9月末 現状判断	21年12月末 見通し	22年3月末 見通し
全産業	2.0	(4.0)	8.3	(2.0)
製造業	0.0	(5.9)	5.9	(5.9)
非製造業	2.4	(3.6)	8.8	(1.2)
建設業	▲5.0	(▲10.0)	9.5	(5.0)
情報通信業	12.5	(12.5)	12.5	(12.5)
運輸業、郵便業	0.0	(0.0)	25.0	(0.0)
卸売業、小売業	▲11.1	(11.1)	10.0	(0.0)
サービス業	20.0	(13.3)	5.0	(0.0)

(注) ■色字は前回調査(21年4~6月期)時の見通し

売上高

21年度は減収見通し

(注: 石油・石炭・電気・ガス・水道、金融、保険を除く)



(前年同期比増減率: %)

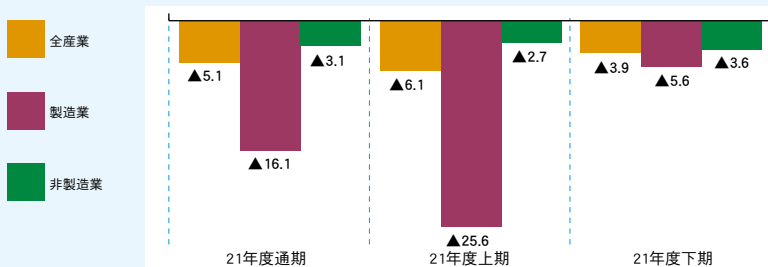
	21年度	上期	下期
全産業	(▲4.7)	▲6.2	▲8.7
製造業	(▲8.8)	▲10.0	▲13.2
非製造業	(▲4.0)	▲5.5	▲7.9
建設業	(9.6)	▲2.4	▲0.9
情報通信業	(▲2.8)	▲2.5	▲1.2
運輸業、郵便業	(▲5.1)	▲6.0	▲5.5
卸売業、小売業	(▲6.6)	▲6.3	▲10.3
サービス業	(▲3.3)	▲6.8	▲11.7

(注) ■色字は前回調査(21年4~6月期)結果

経常利益

21年度は減益見通し

(注: 石油・石炭・電気・ガス・水道、金融、保険を除く)



(前年同期比増減率: %)

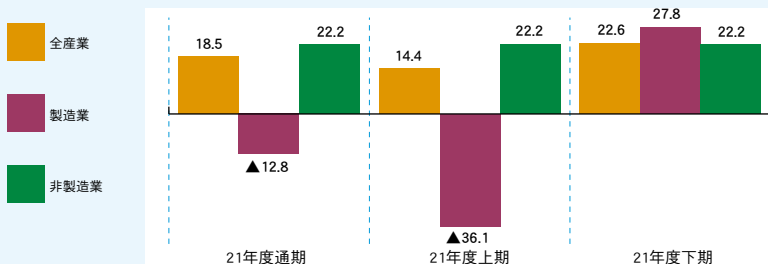
	21年度	上期	下期
全産業	(▲6.0)	▲5.1	▲6.1
製造業	(▲5.3)	▲16.1	▲25.6
非製造業	(▲6.2)	▲3.1	▲2.7
建設業	(▲29.2)	1.9	34.2
情報通信業	(▲15.2)	▲14.2	▲6.1
運輸業、郵便業	(64.2)	48.4	73.8
卸売業、小売業	(7.3)	8.1	0.9
サービス業	(18.7)	15.7	▲2.2

(注) ■色字は前回調査(21年4~6月期)結果

設備投資

21年度は増加見通し

(注: ソフトウェア投資額及び土地購入額を除く)



(前年同期比増減率: %)

	21年度	上期	下期
全産業	(16.4)	18.5	14.4
製造業	(▲28.6)	▲24.3	▲31.0
非製造業	(12.7)	▲12.8	▲36.1
情報通信業	(16.8)	22.2	22.2
情報通信業	(▲32.3)	▲42.7	▲53.9
運輸業、郵便業	(▲31.3)	15.3	83.6
卸売業、小売業	(▲68.2)	▲66.8	▲72.3
サービス業	(▲28.3)	83.8	▲37.5

(注) ■色字は前回調査(21年4~6月期)結果

農林水産部

(単位:人、%)

	男性	女性	計	構成比
10代	19	40	59	21.1
20代	21	46	67	23.9
30代	25	36	61	21.8
40代	36	14	50	17.9
50代以上	29	14	43	15.4
計	130	150	280	100.0
構成比	46.4	53.6	100.0	

参加者の構成

- 沖縄総合事務局… 72人
- 沖縄県…………… 54人
- 宜野湾市、石垣市、名護市、沖縄市、豊見城市、金武町…………… 51人
- 琉球調理師専修学校、コープおきなわ… 103人

合計280人

実践参加者

21日(日)の7日間

実践期間

平成21年6月15日(月)～

沖縄版「食事バランスガイド」の実践結果



Point
沖縄総合事務局では、食育推進基本計画において食生活改善の指針とされている「食事バランスガイド」について、毎年6月の食育月間に実践週間を設けています。

第四回の実践週間の結果についてお知らせするとともに、今後、健康長寿県の復活に向け、食事バランスガイドの活用など、食生活の改善を促してまいります。

沖縄版「食事バランスガイド」実践週間の結果について

参加者総数は280人で、うち男性が130人、女性が150人。年代別に見ると20代の67人が最も多く、次いで30代が61人、10代が59人でした。

実践週間の結果

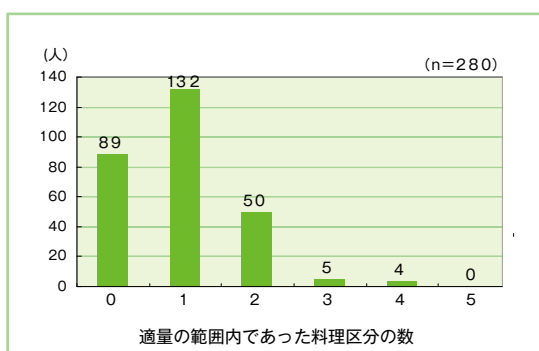
〔結果のポイント〕

- 朝食は、年齢が高い層ほど毎日摂っており、全体でも半分以上の人は、毎日朝食を摂っている。
- しかしながら、バランスのとれた食事をしている人は4人(1.4%)にすぎない。
- 特に牛乳・乳製品、果物、副菜を適量摂っている人が極めて少ない。
- 食事の摂取量と肥満には顕著な関係は見られなかったが、男性は、年齢とともに肥満が増加し、40代以上の人は、半分近くが肥満となっている。

〔食生活の結果〕

1週間を通して、主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物のすべての料理区分について、「食事バランスガイド」に沿った食事をした人はいませんでした。

また、5つの料理区分のうち、4つの料理区分で適量を摂取し、「バランスのとれた食事」ができた人は4人(1.4%)でした。



〔各料理区分を適量食べた人の割合〕

5つの料理区分のいずれについても、適量摂取した人の割合は少なく、特に、果物、牛乳・乳製品、副菜は極めて少ないものでした。

適量食べた人の割合

・主食	32.5%
・副菜	12.9%
・主菜	45.0%
・牛乳・乳製品	2.9%
・果物	0.7%

〔朝食の摂食回数〕

男女とも、半分以上の人が毎日朝食を摂っていました(男性が52%、女性が51%)。

男性は、年齢が高い層は毎日朝食を摂っており、50代以上で76%、40代で56%が毎日朝食を摂っていました。また、10代も53%が毎日朝食を摂る一方、20代は14%しか毎日朝食を摂らず、14%が朝食を一度も摂っていません。

農林水産部

① 沖縄産「紅いも」を使ったお菓子

★紅いも生産者の満足

沖縄では、各地で紅いもが栽培されていますが、読谷村などの生産者グループ（90戸）は、(株)お菓子のポルシェと連携して成功しました。

ポルシェと連携をする前は、サトウキビの裏作として紅いもを栽培していましたが、大きさが程よく形のきれいな規格品は半分程度しか穫れず、残りは規格外品として値段もかなり安かったそうです。

それが、ポルシェと契約出荷するようになってからは、大きさや形が揃いでも、害虫の被害にあった部分以外は、良い値段ですべて出荷でき、とても喜んでいます。



▲紅いもの栽培技術の向上に取り組む残波農研クラブのメンバー

3年前には畑の近くにポルシェのお菓子工場も建ち、自分たちの紅いもで作られたお菓子が観光客



▲収穫前の紅いも



▲収穫された紅いも（中段）は(株)ポルシェ食品でペースト状に加工され、袋詰めされる。

にも大変喜ばれていることを目の当たりにして、栽培面積を増やして品質の良いものをたくさん作りたいと、農家6名で「残波農研クラブ」を結成しました。

紅いもは、連作障害といって、病害虫が発生するため二回しか連続して栽培できなかったのですが、肥料を工夫して三回まで栽培できないかと頑張っているそうです。

用語解説 農商工連携とは



農商工連携とは、農林水産物の生産者と、これを原材料として食品を製造する業者や販売する業者、観光業者などが協力して、お互いの技術やノウハウ、情報を持ち寄り、新しい商品やサービスを開発し、それぞれが利益を上げて成功する関係を築くことです。

国では、「農商工連携促進法」に基づき、こうした連携の計画について適切なものとして認定した場合には、新商品・サービスの開発やマーケティング調査等への助成、低利融資や課税特例等の支援を行っています。



亜熱帯気候の沖縄では、本土にはない農林水産物が生産されています。生産者と食品の製造業者が協力して、規格外品といわれる形や大きさが揃いの品も含めて、原材料として使用し、沖縄らしい食品の開発に成功した「農商工連携」（用語解説参照）の事例を紹介します。

① 沖縄産「紅いも」を使ったお菓子→紅いもを原材料に、おみやげとしても大人気のお菓子へ

② 沖縄産野菜の規格外品を活用した野菜チップス→野菜の生産者、カット業者、食品製造業者が連携して、規格外品を彩り豊かな野菜チップスへ

農家も食品製造業者も満足 農商工連携レポート 沖縄の農林水産物を使って新商品開発、地域おこし



▲次々と生産される紅いものお菓子

★お菓子のポルシェの満足
株お菓子のポルシェは、紅いもの生産者と出荷契約を結んだことで、沖縄産の高品質で、安全・安心な紅いものを安定して購入できるようにになりました。それでも、紅いものを使ったタルトなどは大人気で、今まで以上にたくさんの紅いものが必要なため、紅いもの栽培の講習会などを開催し、生産者の栽培技術の向上に取り組んでいくそうです。



▲野菜の苗の水やりに余念の無い沖縄ファームの大城さん

2 沖縄県産野菜の規格外品を活用した野菜チップス
★沖縄ファームの満足
(有)沖縄ファーム（南城市）は、キャベツやレタス、カボチャなどの野菜を生産していて、曲がって形や大きさが不揃いの規格外品は、これまででは、(有)グリーンフィールドに出荷して、サラダなどに使うカット野菜の材料としていました。
今回、沖縄特産販売株式会社と連携して、規格外品を使った野菜チップスの商品開発に成功したことで、規格外品も出荷できるようになりました。

になりました。また、周辺農家に野菜栽培のための苗を供給していることから、規格外品の出荷が増えれば農家からの出荷も増えることとなります。
同社では、農薬の使用を減らすとともに、生産行程履歴といて、どのような肥料、農薬を使って野菜を栽培したかを記録し、消費者からの問い合わせに答えられるようにして、安全・安心な野菜生産を心がけているそうです。



▲(有)グリーンフィールドでは、衛生管理の行き届いた工場野菜のカット作業を行っている。

★沖縄特産販売株式会社の満足
沖縄特産販売株式会社は、以前は、海外から野菜チップスを輸入して販売していましたが、消費者からは海外産は安全性の面で不安だとの声があつたそうです。
このため、自らが、沖縄産の安全・安心な野菜を使って野菜チップスを製造しようと、沖縄ファームに連携を申し出て、県産野菜の規格外品を活用した商品開発に取り組み、彩り豊かな野菜チップスの開発に成功し、消費者の声に応えることができました。

今後は、開発された新商品の生産を増やそうと、国の補助事業により大型のフライ装置を導入することとしています。



▲沖縄特産販売の野菜チップス

運輸部



『ニューくだかⅢ』は、総トン数／19トン、全長／19・70m、航海速力／24ノット（時速に換算すると約43キロ）、旅客定員／80

旧船舶の『ニューくだか』は、エンジンの経年劣化による速力の低下、内装壁材及び座席シートの傷み等老朽化が著しく、高速性・快適性を欠き不経済船となっていました。

また、久高島は古くから「神の島」と呼ばれ、神事や祭事が盛んに行われているところであり、世界遺産として登録された斎場御嶽とも関係が深く、斎場御嶽を訪れた観光客が久高島に癒しと安らぎを求め訪れていることから、地域の交通の足を整備するとともに、島民のライフラインとなることを考慮した代替船舶の建造が望まれていました。



名、船型はロングノーズバウ※を採用し、燃費節減、波に強く、スピードが増すほど安定性が高まる構造になっており、従来の『ニューくだか』では片道15分の航海時間を3分短縮するとともに、高齢者や車いす利用者に配慮した手すり、トイレ、通路、スロープ、車いす収納スペース等バリアフリーに対応した設備や省エネ装置を施し、優しく・安全で快適な乗心地となっています。



『ニューくだかⅢ』の就航に伴い、海上輸送が更に高速化され、乗客の利便性の向上や安定的な旅客輸送の確保により、地域経済の発展と活性化が一層促進されることが期待されています。

※ロングノーズバウ…船首船底を細長くすることにより、波を押しのける時の抵抗を減少させ、速力のアップと燃費の節約が図られ波浪による船体衝撃を緩和するための船型。



『ニューくだかⅢ』は、昭和63年以来就航していた『ニューくだか』の代船で、昭和27年に竣工した初代の『新宝丸（4・77トン）』から数えて5代目になり、平成21年8月27日より就航しました。当航路は、久高海運合名会社により『フェリーくだか』と『ニューくだかⅢ』の2隻体制で運航が行われています。

久高く安座真航路に 高速旅客船『ニューくだかⅢ』就航

総務部

公正で自由な競争が、事業者と消費者を守っています ～競争政策に関する懇談会を開催～

Somubu

公正取引室が進める「競争政策」は、公正で自由な競争を促進することにより事業活動を活性化させ、消費者の利益を確保することを目的としています。事業者が公正で自由な競争を行うことにより、市場には品質の良い商品やサービスが提供され、消費者は自由にそれらの中から選ぶことができ、その結果、消費者の利益が確保されることになります。



また、事業者も自らの創意工夫を発揮して消費者のニーズに合った商品を開発することにより売り上げを伸ばし成長していくことができます。当室では、この公正で自由な競争を守るための独占禁止法や下請事業者いじめを防いだり、やめさせたりするための下請法を運用しています。

当室では、県内各地においてこうした「競争政策」についてより一層の理解を深めてもらうとともに、その地区の有識者からの幅広い意見・要望に対する認識を深め、今後の競争政策に役立てることを目的に年4回程度「競争政策に関する有識者との懇談会」を開催しており、去る9月25日（金）には名護市の産業支援センターにおいて本年度第1回の懇

談会を開催しました。

懇談会では当室が公正取引委員会の最近の活動状況や来年1月に施行予定の改正独占禁止法についての説明を行った後、出席者との意見交換が行われ「農産物のネーミングの権利の使用」や「大手企業の取引業者いじめ」等の問題に関して活発な意見が交わされました。

なお、公正取引室では、県民の皆様からの独占禁止法又は下請法に違反する疑いに関する情報（申告）を受け付けております。

○申告窓口

総務部公正取引室

那覇市おもろまち2-1-1

那覇第二地方合同庁舎2号館6階

(TEL098-866-0049)

経済産業部

「改正特定商取引法・割賦販売法説明会」の開催について

Keizaisangyo

経済産業省の委託事業である「改正特定商取引法・割賦販売法説明会」が、那覇第2地方合同庁舎において、10月23日に開催されました。

昨年改正された特定商取引法・割賦販売法説明会が平成21年12月1日から施行されるため、改正法の内容について「政・省令、ガイドライン」などにつきまして、全国各地で開催され、経済産業省取引信用課浅野優子氏及び消費者庁取引・物価対策課山村直弘氏より、様々な事例を交え、説明が行われ、主な改正内容として、以下のとおりです。

【割賦販売法】

<悪質商法を助長する与信の防止>

- 個別クレジットを行う事業者を登録制の対象とし、行政による監督規定を導入。
- 個別クレジットを行う事業者が訪問販売等を行う加盟店の行為について調査す

ることを義務づけ、不適正な勧誘があれば、消費者へ与信することを禁止。

- 訪問販売等による売買契約が虚偽説明等により取り消される場合や、過量販売で解除される場合、個別クレジットも解約し、消費者が既に支払ったお金の返還も請求可能に。

<過剰与信防止>

- クレジット業者に対し、指定信用情報機関を利用した支払能力調査を義務づけるとともに、支払能力を超える与信を禁止。

<規制範囲の拡大>

- 割賦の定義を見直し2ヶ月を超える1回払い2回払いも規制対象に（現行は3回払い以上）。
- 原則すべての商品・役務を扱う取引を規制対象に。

<クレジットカード情報の保護>



- 個人情報保護法でカバーされていないカード情報の漏洩や不正入手をした者を刑事罰の対象に。

【特商法】

- 訪問販売の規制強化（過量販売規制について）
- 通信販売の規制強化（電子メールやカタログ等広告媒体毎の表示ガイドラインについて）
- 罰則の強化

開発建設部 那覇港(泊ふ頭地区)大型旅客船バース供用開始

Kaihatsukensetsu



平成21年9月22日(火)、内閣府沖縄総合事務局及び那覇港管理組合の共催による那覇港(泊ふ頭地区)大型旅客船バース完成供用式典を開催いたしました。本バースは、沖縄県のリーディング産業である観光リゾート産業を積極的に支援するとともに国際交流拠点の形成に必要な交通アクセスの拡充を図るため、平成19年11月に工事着手し、平成21年8月に完成しました。バースの表面には首里城の朱色と琉球かすりのデザインを取り入れ、クルーズ船にふさわしい美しい施設となっています。また、万が一の地震に十分耐えうる耐震構

造となっており、大規模地震発生時には物資の緊急輸送や市民の避難・移動の拠点となります。

式典当日は、多数の来賓・事業関係者が出席のもと、竹澤正明沖縄総合事務局長及び仲井眞弘多那覇港管理組合管理者(沖縄県知事)の式辞に始まり、下地幹郎衆議院議員による来賓祝辞、津田修一那覇港湾・空港整備事務所長による施設紹介が行われたあと、テープカット及びくす玉開披のセレモニーが執り行われました。セレモニーは、第1船として入港した大型外航クルーズ船「スーパースター・リブラ」をバ

ックに行われました。

今後は、沖縄のクルーズ観光の拠点として県経済の発展に大きく寄与するものと期待されています。

岸壁部諸元

対象船型:7万トンクラス

施設:岸壁(-9.0m)(耐震)

延長:340m

水深:-10.0m

開発建設部

『第1回 大保ダム水源地域ビジョン策定委員会』を開催

Kaihatsukensetsu

大宜味村で建設中の大保ダム(平成22年度供用開始予定)において、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための将来的な行動計画「水源地域ビジョン」を策定することを目的に『第1回大保ダム水源地域ビジョン策定委員会』が8月26日(水)に北部ダム事務所大保出張所で開催されました。

委員会は、宮城邦治沖縄国際大学教授を委員長とし学識経験者、地域住民、大宜味村、沖縄県など20名のメンバーで構成され、この日は、大宜味村の地域像を表す4つのキーワード【長寿の里】、【芭蕉布の里】、【シークワサーの里】、【ぶながやの里】

を基にしたビジョンのテーマや基本目標、取り組み内容などについて活発な意見交換が行われました。

委員からは、「自然保護のルールづくりや啓発活動」、「大保ダムで自然エネルギー(水力発電電力)を充電した電気自動車が走りまわるエコの村」をビジョンに反映させると良いなどさまざまな意見が出され

ました。

今後は、ワーキング会議である『大宜味ゆんたく会議』において地域の方々の意見を十分に把握しつつ、第2回委員会を10月下旬に開催しビジョンの内容、実施手法、役割分担について検討し、第3回委員会を12月初旬頃に開催し、具体的な行動計画(推進体制)、「大保ダム水源地域ビジョン」策定に向け検討を行なっていきます。

大宜味村の地域像を表す4大キーワード

長寿の里

Long Life Village



芭蕉布の里

Banshō Cloth Village



シークワサーの里

Shi-kwa-sa Village



ぶながやの里

Bunagaya Village



【ビジョン基本目標(案)】

目標1「ぶながやと共生する癒しの村づくり」

目標2「のどかで活力ある健康長寿の村づくり」

目標3「交流の輪が広がる村づくり」

【ビジョンテーマ(案)】

案1: ~ぶながやの森が育む水~長寿と癒しと結いの村・大宜味

案2: 山・海・人 大自然に抱かれたいいきいき長寿村

案3: 長寿水を飲みに行こう大宜味村

運輸部

平成21年度船員労働安全衛生月間の実施

Unyubu

本年度も船員災害の減少と船内における安全で快適な作業環境、居住環境の実現を目指して9月1日~30日の1ヶ月間を船員労働安全衛生月間とし、「元気に乗船 笑顔で下船 家族の笑顔がエネルギー」をスローガンに月間中、各種の行事を展開しました。

まず、9月8日(火)に沖縄県水産会館において船員、船舶所有者、関係機関等多数の参加のもと船員災害防止大会を開催しました。

大会では、船員災害の減少目標の達成を目指して日々の活動を推進していくことを誓った大会宣言がなされ、その後、哲・楽・家の紀々(kiki)氏による「健

幸! のススメ~心と身体メタボ予防のために」という演題で、ストレスの多い現代を軽やかに乗り切る考え方等についての講演が行われました。

この他、会場には作業用救命衣、救命浮環等、船員の保護具の展示場も開設され、年々機能が増している保護具に参加者の関心が集まりました。

また、月間中は訪船指導員が県内各港に停泊中の船舶を訪れ、海中転落事故を防ぐための舷梯(岸壁と船舶を結ぶ梯子)の設置・点検状況、転倒防止のための床面等の安全等についての点検指導を行いました。



~大会宣言~



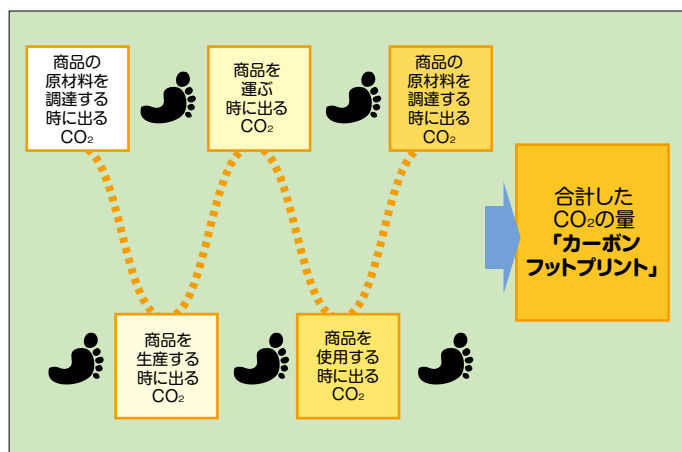
~特別講演~

なかゆくい

Series 4

カーボンフットプリント (CFP) ってご存じですか？

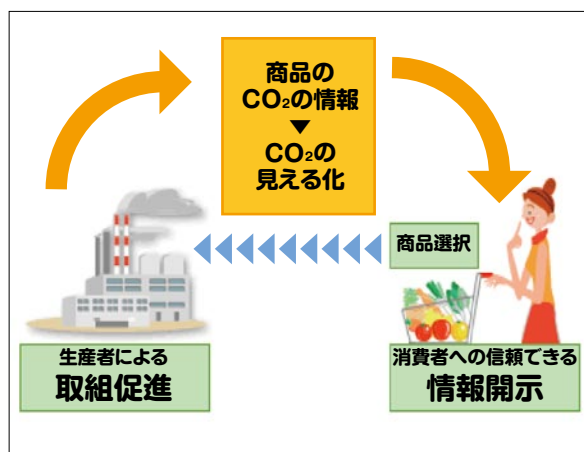
経済産業部環境資源課



カーボンフットプリントとは、直訳しますと「炭素の足跡」です。CO₂が「どこ」で「どれだけ」排出されたかを「見える化」したものです。私達が、日々購入、消費している商品・サービスは、作られてから捨てられるまでの間、石油を始めとする多くのエネルギーを使用しております。これらの商品・サービスのライフサイクルの各過程で排出された「温室効果ガス (CO₂) の全体の量」を示したものです。



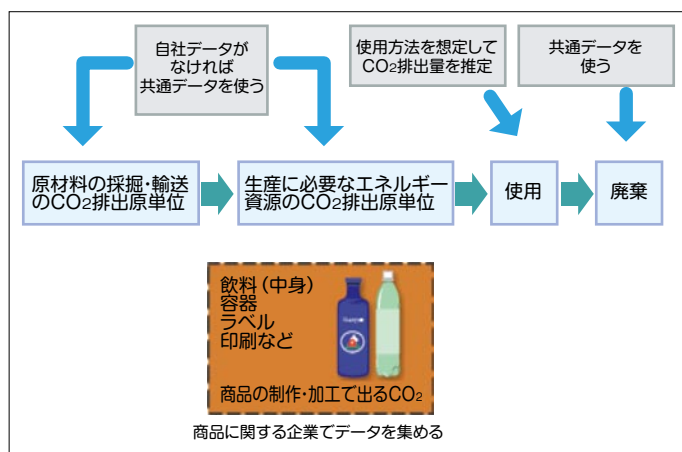
カーボンフットプリントってなんですか？



目的は2つあります。一つは、消費者が商品・サービスに係るのCO₂排出量について、簡単に把握することができます。消費者が排出量を知ることにより、CO₂削減への関心が高まるとともに、CO₂排出量を考慮した商品の購入が見込まれます。二つめは、事業者がカーボンフットプリントを算定することで、効率的なCO₂排出量の削減が可能になります。また、より数値の低いカーボンフットプリントの表示に向けた事業者の削減努力の効果が期待できます。



カーボンフットプリントを実施する目的は何ですか？



商品・サービスのカーボンフットプリントは、LCA手法※を用いてライフサイクル全体で排出されるCO₂量を算出し、地球温暖化に与える影響の程度としてCO₂排出量に換算します。※LCAとは、商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るライフサイクル全体を通して環境負荷を定量的に算定し、環境への影響度を評価することを言います。



カーボンフットプリントのCO₂排出量は、どのように算定するのですか？



カーボンフットプリントのマークはどんなマークですか？



カーボンフットプリントは家庭で取り組むCO₂削減や削減努力にも役立ちますか？



カーボンフットプリントで表示しているCO₂の表示は信頼できるのですか？



最後に・・・

カーボンフットプリントのマークについては、図（上）のとおりです。

なお、本マークにつきましては、早ければ年度内に市場でみられるようになる予定となっております。図（下）



海外でも実施されているんですか？

海外では、2007年

にパイロットプロジェクト

として、イギリスが世界

で初めて開始しており、

2008年2月時点で20

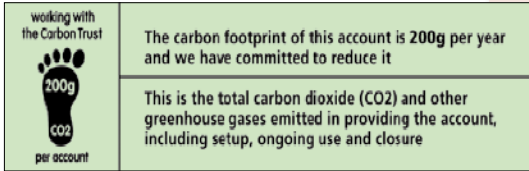
社75品目がカーボンフット

プリント表示商品を市場

に流通させております。

その他、ヨーロッパ、北米

等でも実施しております。



商品選択の参考にする

商品

環境家計簿などを使い
CO₂削減に向けた
家庭での取組み

購入後

ラベル付き商品

家庭でのCO₂排出は、電気やガス、自家用車などの使用によるものだけではありません。日々購入する商品の使用やサービスの利用もその排出量に影響しています。

カーボンフットプリント・マークが表示されることで、買い方、使い方を工夫することにより、CO₂排出削減が可能となります。

信頼性を確保するために、「第三者による検証制度」が検討されています。併せて算定・表示等に関するガイドライン（指針）を作成したり、CO₂排出量の簡便な算定手法を開発したりします。

カーボンフット
プリント

第三者が評価

算出結果の表示

指針に則って
排出CO₂を算出

CO₂を始めとする温室効果ガスの影響による地集温暖化が、大変深刻な問題となっております。日本のみならず、世界各地で、地球温暖化による様々な影響が現れております。沖縄でも例外ではありません。

近年、サンゴの白化現象なども地球温暖化の影響なのではないでしょうか！

現在、マイバック・マイ箸の推進、新エネ・省エネ機器の促進、国内CDMなど、CO₂削減に関する各種取組が実施されておりますが、今後はカーボンフットプリントも削減の方法の一つとなります。

近年、食の安全等から、安価な商品ではなく、質・安全を求める消費者が増えておりますが、同様に環境に配慮するカーボンフットプリントマークのついた環境配慮製品を消費者が選択し、購入するといった光景が近い将来見られるようになると思います。

皆さんも是非、商品の価格だけではなく、カーボンフットプリントマーク付きの商品を確認し、環境配慮に心がけましょう！

内閣府だより

平成21年度「子ども霞が関見学デー」

(8月19日・20日)

平成21年8月19日と20日の2日間
にわたって、内閣府本府庁舎地下講
堂において、『子ども霞が関見学デ
ー』が開催されました。

「子ども霞が関見学デー」は、文
部科学省をはじめとした各府省庁が
連携して、業務説明や省内見学を行
うことにより、親子のふれあいを深
め、子どもたちが夏休みに広く社会
を知る体験活動の機会とするにとも
に、政府の施策に対する理解を深め
てもらふことを目的に開催していま
す。

内閣府では、『内閣府へめんそー



会場の様子



サンゴのネックレスの制作体験



かりゆしウェアを試着しての記念撮影



三線の演奏体験

れ!』をタイトルに、多くの部局に
よるクイズやゲーム、実演・体験プ
ログラムなど工夫を凝らしたコーナ
ーが設けられました。

沖縄担当部局においても、『沖縄
を体験しよう!』というテーマの下、
「サンゴでネックレスを作ってみよ
う!」、「星砂ってどんな手触
り?」、「三線ってどんな音?」、
「かりゆしウェアの着心地は?」、
「沖縄料理ってどんな味?」の5つ
のプログラムを実施しました。

会場は、沖縄の自然にちなんだポ
スターや横断幕に彩られ、また、職
員の演奏による三線の音色が流れる

など、東京に居ながらにして沖縄を
訪れたかのような雰囲気となりました。

子どもたちは、サンゴや星砂に触
れたり、沖縄の伝統楽器である三線
を弾いたりなど様々な体験プログラ
ムを通じて、沖縄独特の自然や文化、
歴史などについて学んでいました。

内閣府への来場者がこの2日間で
715名に至る、近年にない盛況ぶ
りとなった『子ども霞が関見学デ
ー』。沖縄担当部局では、沖縄の魅
力を引き続き発信してまいります。

11月は下請取引適正化推進月間です。

親事業者(発注者)と下請事業者(受注者)との下請取引については、「下請代金支払遅延等防止法」や「下請中小企業振興法」による振興基準において、親事業者の義務や禁止行為などのルールが定められています。国では、定期的の下請取引の実態を調査するなど、下請取引適正化のための指導を行っています。

下請代金支払遅延等防止法

【親事業者の義務】

- 取引条件等を記載した注文書の交付
- 下請取引に関する事項を記載した書類の作成と保存
- 下請代金の支払期日を定めること
- 遅延利息の支払

【親事業者の禁止行為】

- 受領拒否
- 下請代金の支払遅延
- 下請代金の減額
- 返品
- 買いたたき
- 物の購入強制・役務の利用強制
- 報復措置
- 有償支給原材料等の対価の早期決済
- 割引困難な手形の交付
- 不当な経済上の利益の提供要請
- 不当な給付内容の変更・やり直し

下請中小企業振興法

【振興基準】

- 下請事業者の生産性の向上及び製品若しくは情報成果物の品質若しくは性能又は役務の品質の改善
- 親事業者の発注分野の明確化及び発注方法の改善
- 下請事業者の施設又は設備の導入、技術の向上及び事業の共同化
- 対価の決定の方法、納品の検査の方法その他取引条件の改善
- 下請事業者の連携の推進

平成21年度下請取引適正化推進月間キャンペーン標語

「法令遵守は企業の常識」
～守ってますか下請法～

11月は下請取引適正化推進月間です。全国各地において下請取引適正化推進講習会(参加費無料)を開催するほか、全国の公正取引委員会の地方事務所等や経済産業局等で、下請取引に関する相談等にも応じています。

詳しくは以下の連絡先にお問い合わせください。

総務部 公正取引室 Tel.098-866-0049
経済産業部 中小企業課 Tel.098-866-1755



2010年 世界農林業センサス

農林業のこと
農山村のこと

おしえて
ください

平成22年
2月1日実施!

入来茉里

5年に一度の一斉調査にご協力ください



農林水産省

沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>

広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。